ガバナンスコード（一般スポーツ団体向け）について

2020年2月20日（木）地域スポーツクラブ育成セミナー

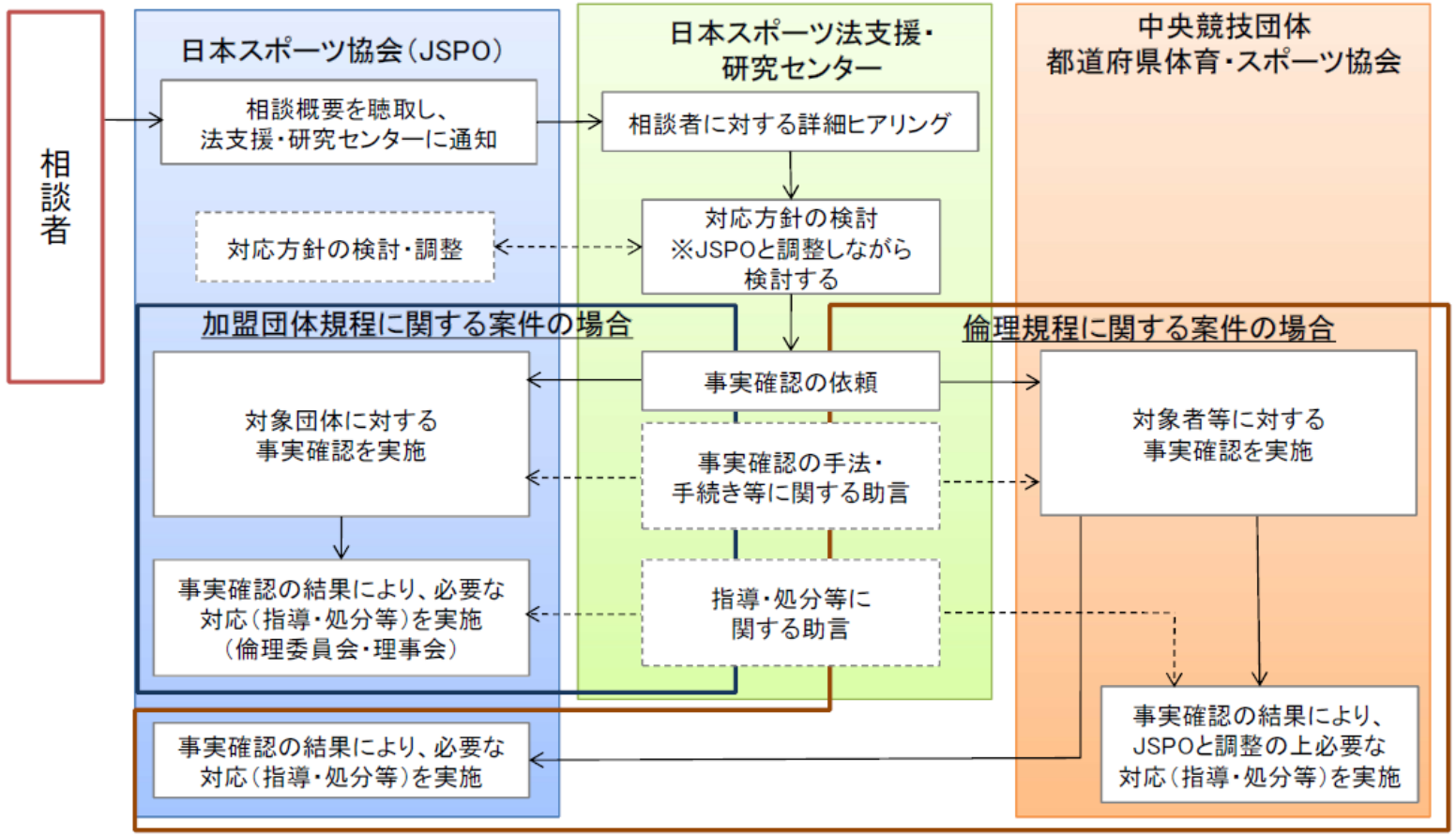
隼あすか法律事務所　弁護士　椿原　直

1. はじめに

自己紹介

- 弁護士
- スポーツ団体における活動
  - JSPOスポーツにおける暴力行為等相談窓口担当弁護士
  - JRFUインテグリティ相談窓口担当弁護士
  - 各種不祥事調査
  - 規程類の整備
  - 研修講師等

JSPOスポーツにおける暴力行為等相談窓口



2. スポーツ・インテグリティとは

インテグリティとは何か

品位 (INTEGRITY)

情熱 (PASSION)

結束 (SOLIDARITY)

規律 (DISCIPLINE)

尊重 (RESPECT)

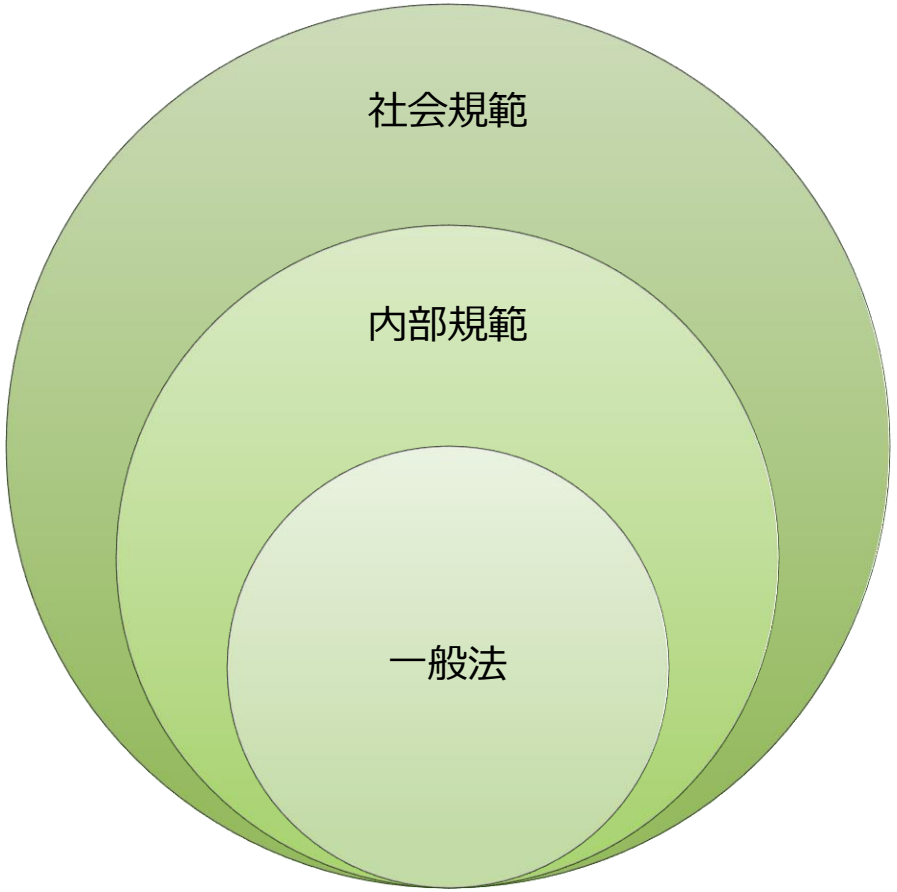
品位 (INTEGRITY)

品位とはゲームの構造の核を成すものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

インテグリティとは何か

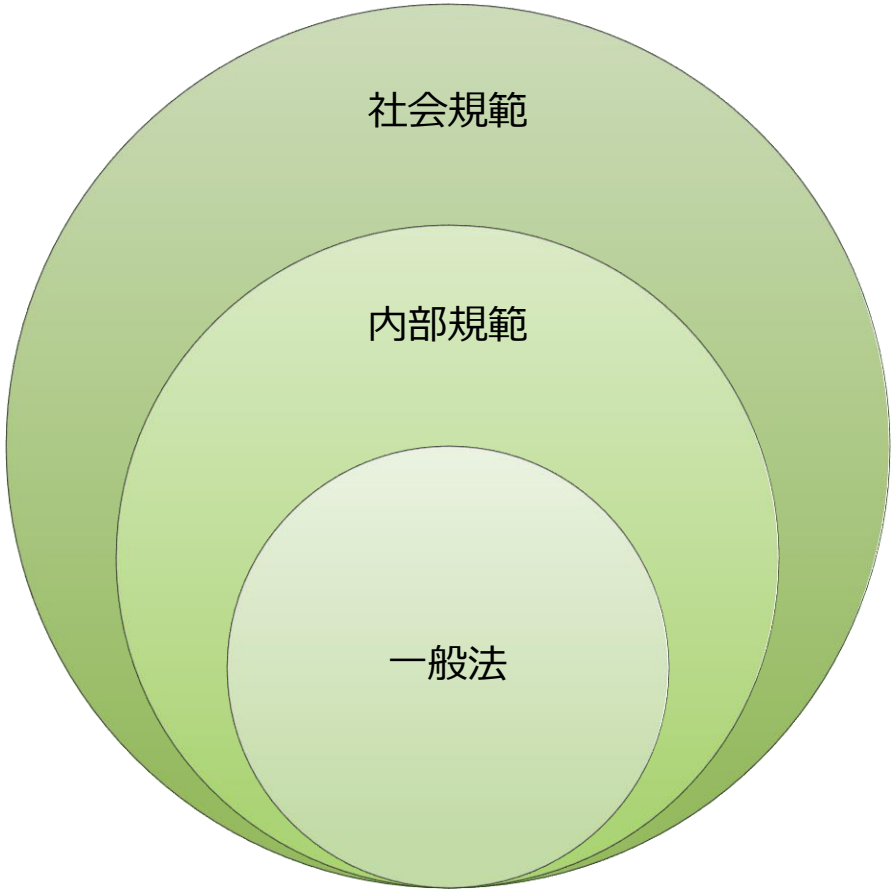
- https://jinjibu.jp/keyword/detl/717/
「インテグリティ」（integrity）とは、誠実、真摯、高潔などの概念を意味する言葉。組織のリーダーやマネジメントに求められる最も重要な資質、価値観を示す表現として、特に欧米の企業社会でよく使われます。

インテグリティとは何か



- 社会規範
  - こうあってほしいという期待
  - インテグリティ
- 内部規範
  - 会社や業界団体が定めるルール
  - 一部インテグリティを含む
- 一般法
  - 国が定めた法律

スポーツ・インテグリティとは何か



- 社会規範
  - こうあってほしいという期待
  - スポーツ・インテグリティ
- 内部規範
  - 競技団体や統括団体が定めるルール
- 一般法
  - 国が定めた法律

（スポーツ競技団体のコンプライアンス強化委員会、2018）

なぜインテグリティ（歴史から）

- カウンターカルチャーからカルチャーへ
  - 「無礼講」から「ルールの中での戦い」へ
- スポーツと戦争、国家対立
  - 戦前戦中における競技活動の自粛
    - 学生野球協会の設立
  - 東西対立とモスクワオリンピック

カウンターカルチャーからカルチャーへ

- サッカーの歴史
  - http://www.ssf.or.jp/history/essay/tabid/1114/Default.aspx
    11世紀から12世紀のフランスには「ラ・シュール」と呼ばれる球体を蹴り合うサッカー、ラグビー、ホッケーに似た遊びがあった。復活祭やクリスマスに階級を超えて行われ、けが人もでる激しい活動であった。
  - 歴史の中で、ルールを設け、安全性を高め、かつ競技性を特化することで、社会に承認されてきた。

学生野球協会の設立

- 学生野球はわが国に於いて最も愛され、最も親しまれ、且つ、最も喜ばれるスポーツである。**学生野球が全盛時代の昭和７年(１９３２)3月２８日に文部省が訓令第４号のいわゆる「野球統制令」を発令した。**終戦後、学生野球に関与する者にしてみれば、事ごとに文部省の指導監督を受けるのでなければ、学生野球の健全なる発達を期しえないということは、野球人に対する重大な侮辱であった。（中略）**日本学生野球協会が設立されると昭和２２年(１９４７)5月２１日文部省訓令第６号により「野球統制令」が廃止された。**

学生野球憲章

- 第2条（学生野球の基本原理）
- 学生野球における基本原理は次のとおりとする。
  - （中略）
  - ④学生野球は、学生野球、野球部または部員を政治的あるいは商業的に利用しない。
  - （中略）
  - ⑧学生野球は、国、地方自治体または営利団体から独立した組織による管理・運営を理念とする。

東西対立とモスクワオリンピック

西暦	主なできごと
1980	米ソ対決の冷戦下、JOCは日本政府の意向を受け、モスクワオリンピック不参加を決定
1987	第１回オリンピックデーランを札幌市で開催
1991	JOCが日本体育協会から分離独立

- https://www.joc.or.jp/movement/data/movementbook.pdf

なぜインテグリティ（まとめ）

- スポーツの歴史を考えると、一般法はもちろん、内部規範や社会規範に適合しない競技は社会に受け入れられない
- 政治的な介入を避けるためにも、自らを律し、社会に受け入れられるように取り組まなければならない

3. インテグリティ→ガバナンス

ガバナンスとは何か

- 「組織などをまとめあげるために方針やルールなどを決めて、それらを組織内にあまねく行き渡らせて実行させること」
- 不祥事に対応することだけに必要な要素ではなく、日常の組織の運営のために必要な要素である
- 「適切」かつ「効率的」な組織運営を行える

インテグリティとガバナンスの関係性

- 「なんかいいこと」であるのはみんな分かる
- どちらも、ある目的に向けられている

Basic Universal Principles of Good Governance of the Olympic and Sports Movement (2008)

- Seminar on Autonomy of Olympic and Sport Movement, 11- 12 February 2008
  オリンピックとスポーツムーブメントの自治に関するセミナー

- しばしば介入を受けやすいスポーツ（あるいはスポーツ団体）として、どのように自治を獲得するか

Basic Universal Principles of Good Governance of the Olympic and Sports Movement (2008)

- 1. Vision, mission and strategy
- 2. Structures, regulations and democratic process
- 3. Highest level of competence, integrity and ethical standards
- 4. Accountability, transparency and control
- 5. Solidarity and development
- 6. Athletes' involvement, participation and care
- 7. Harmonious relations with governments while preserving autonomy

Autonomy（自治）の源泉

- 自治の根拠は上記1から6に存するが、根源的には「democratic process（民主的手続）にあると考えられる
＝スポーツを、する・みる・ささえる人のため

- 自治を獲得するためには、民主的なガバナンスが必要であるし、インテグリティも追求しなければならない

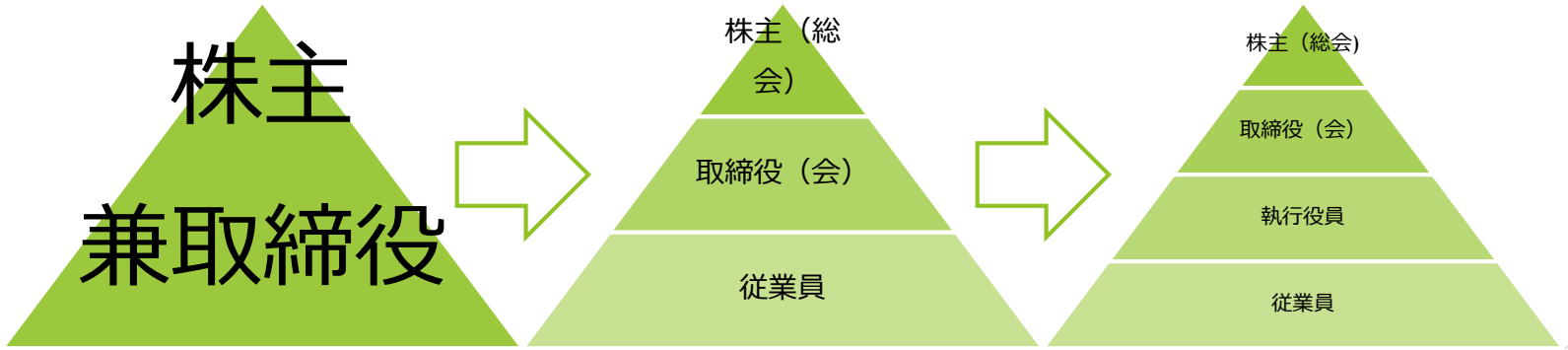
誰の誰に対する自治か

- スポーツをする・みる・ささえる人
- チーム
- 地方競技団体
- 中央競技団体
- 統括団体
- 国家権力

4. ガバナンスのイメージとガバナンスコード（一般向け）

ガバナンスとはなにか

- 組織の拡大と機能の分化
  - 取締役兼株主1名の会社=すべて取締役で全くOK
  - 少しずつ、執行機関が拡大していく
  - 監督機能の必要性
  - 権限の委譲の必要性



スポーツ団体ガバナンスコード

- 自治と矛盾するにもかかわらずこういうものが作られたのはなぜか

スポーツ団体ガバナンスコード（NF以外向け）

- 原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。
  - (1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守すること
  - (2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守すること
  - (3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守すること
  - (4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備すること

スポーツ団体ガバナンスコード（NF以外向け）

- 原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。
- 原則3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。
  - (1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施すること、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促すこと
  - (2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施すること、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促すこと

スポーツ団体ガバナンスコード（NF以外向け）

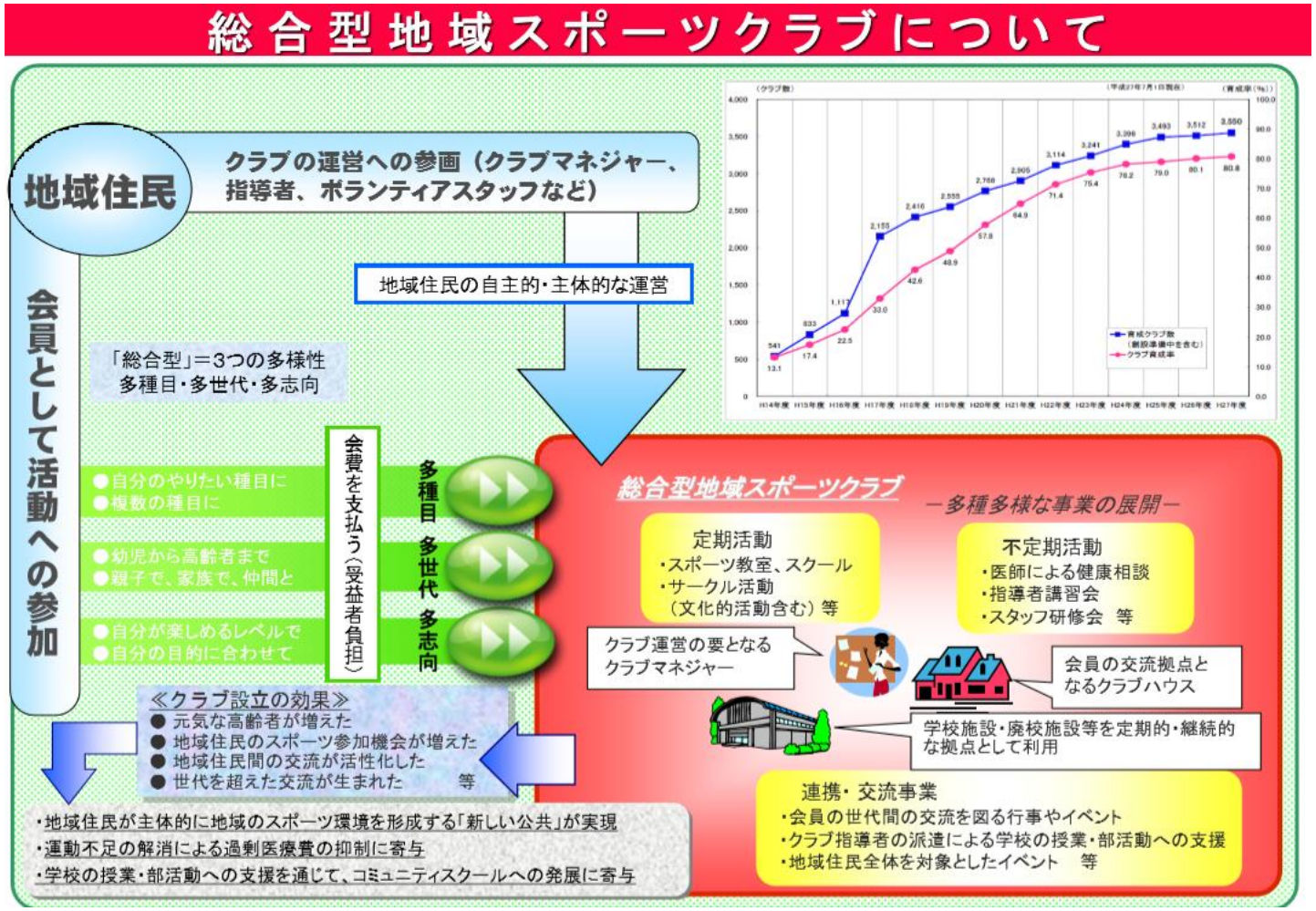
- 原則4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。
  - (1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守すること
  - (2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令，ガイドライン等を遵守すること
  - (3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備すること

スポーツ団体ガバナンスコード（NF以外向け）

- 原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。
- 原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード＜NF 向け＞の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。

5. ガバナンスコードからみたチームの不適切な運営

総合型地域スポーツクラブの特徴



トラブル例①

- 「どういう理由かよく分かりませんがクラブに入れてもらえません。」

トラブル例①→対応ポイント
原則1、原則2

- クラブの規約はどのようになっていますか
  - クラブ加入の要件はどのように定まっていますか
  - クラブ一般の理念はどのようになっていますか
  - 理念と矛盾する要件は課されていませんか

トラブル例②

- 「特定の指導者のいうことばかり聞かなければならず、納得がいきません」
- 「練習メニューなどについていろいろと意見してみましたが聞いてもらえません」

トラブル例②→対応ポイント
原則1、原則2

- クラブの規約はどのようになっていますか
  - 役員は何を決められますか
  - 指導者はどのように定まりますか

  - 「民主的」な視点はありますか

トラブル例③

- 「指導者間でもめ事が生じた結果、少数派であった私は、クラブから親子ともども追い出されてしまいました。」

トラブル例③→対応ポイント
原則1、原則2

- クラブの規約はどのようになっていますか
  - 指導者はどのように選解任されますか
  - 退団に関する規程はありますか
- 不利益処分は一般にどのように課されますか

トラブル例④

- 「勝たないと指導者が怒ります。」
- 「最近練習量が増え、ついていけません。」

- 「試合に勝てと保護者の突き上げが強いです。」

トラブル例④→対応ポイント
原則1、原則2、原則5

- クラブの規約はどのようになっていますか
  - 活動方針はどのように定められていますか
  - 総合型地域スポーツクラブの理念はどうですか
  - 理念と矛盾する要件は課されていませんか
  - 理念を公表していますか

トラブル例⑤

- 「指導者が怒った時の発言や行動が怖いです。」
- 「指導者が子どもに対して手を出します。」
- 「指導者の指示で子どもが指導者の自室でマッサージを受けているのですが、どのようなことをやっているか不安です。」

トラブル例⑤→対応ポイント
原則3

- 単位団のメンバーに対して、教育的な機会は与えられていますか
- 以下の資料などを参照してください。
  - 実践！グッドコーチング
    https://www.php.co.jp/manual/detail.php?code=84479
  - マンガで学ぶスポーツコンプライアンス
    https://www.parasapo.tokyo/topics/1860
  - スポーツ団体のためのコンプライアンス・ハンドブック
    https://www.mext.go.jp/sports/content/1404855_1.pdf
  - まんがでわかるみんなのスポーツ・コンプライアンス入門
    http://www.spo-com.org/news/366/

トラブル例⑥

- 「会計報告を見たことがありません。」
- 「子どもが去年クラブを卒業したのですが、去年支払った合宿費の残金がどうなったのか分かりません。」

トラブル例⑥→対応ポイント
原則4、原則5

- 予算の承認、決算の報告は実施されていますか

- 予算、決算、事業計画、事業報告は公表されていますか
- 公表の相手は誰であるべきですか

Thank you!

弁護士　椿原 直

隼あすか法律事務所 / HAYABUSA ASUKA LAW OFFICES

〒100-6004　東京都千代田区霞が関三丁目2番5号　霞が関ビル4階

URL: http://www.halaw.jp/

E-mail: sunao.tsubakihara@halaw.jp